

二〇二二年度

入学試験問題

国語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

- 一、問題冊子は監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 二、監督者の指示により、最初に問題冊子の表紙と解答用紙の、指定されたらんに受験番号と氏名を記入してください。
- 三、試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
- 四、受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
- 五、字数に制限のある問題では、「、」「や」「。」などの記号も一字と数えます。
- 六、解答用紙は持ち帰らないでください。

受験番号			
1			

氏名

〔二〕 次の――線部のカタカナを、漢字に改めなさい。

- ① オウフク葉書で応募する。
- ② カネン性のガス。
- ③ ドウメイを結ぶ。
- ④ ジコウの挨拶。
- ⑤ 大器はバンセイする。
- ⑥ 来年のキョシユウが注目される。
- ⑦ 面会シャゼツのはり紙。
- ⑧ 議長をツトめる。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい（設問の都合上、本文を一部省略した）。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(佐倉統^{おきむ}「科学とはなにか」講談社ブルーバックス 二〇二〇年 による)

- ※1 標準治療：がんの治療にあたって、科学的に最良であるとされる方法。
- ※2 イノベーション：技術革新。
- ※3 ダイナミクス：力の大きな流れ。
- ※4 J-フォン：携帯電話サービスのブランド名。現在のソフトバンク。
- ※5 ネルソン・マンデラ：南アフリカ共和国の黒人政治家。人種差別に抵抗し、一九九四年に南アフリカの全人種が参加した普通選挙を実現してノーベル平和賞を受賞した。
カの全人種が参加した普通選挙を実現してノーベル平和賞を受賞した。
- ※6 アパルトヘイト：二〇世紀に南アフリカ共和国で行われていた人種隔離政策。選挙権、職業、居住、教育など、社会生活上のあらゆる場面で白人が法的に優位に置かれていた。
- ※7 俯瞰的に：高いところから広い範囲を見下ろすように。
- ※8 カルト：異端的な宗教集団。
- ※9 イデオロギー：人間の行動を左右する根本的な思想。
- ※10 ファクトチェック：情報の正確性を検証する行為。

問一 ——線1「科学技術が進めば進むほど、トランス・サイエンス領域は広がっていく」とはどういうことか。説明として最もふさわしい文を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 科学技術は合理的な思考によって進歩するので人間の特別さの証明となるが、その代わりに、人々にまじないに代表される自然的な文化を敬う気持ちを忘れさせてしまうということ。
- イ 科学技術が進歩すればするほど人間が理解し解決できる物事は増えていくが、同時に、現在の科学技術では解決できないために人々が恐れを抱いてしまう物事も浮きほりになっていくということ。
- ウ 科学技術が進歩にしたがって解決できなかつた問題が解決できるようになるが、一方で、人々は科学知を得るたびにリスクに敏感になり、しだいに合理的な判断力を失っていくということ。
- エ 科学技術が進歩することによって人間の生活は豊かになっていくが、その裏では、生活知でしか理解できない領域にまで科学知が持ちこまれて、学問領域の区分があいまいになっていくということ。

問二 ——線2「科学的知識と日常的知識とを、対立するものとして捉えるのではなく、相互に補完するものとして捉える」とはどういうことか。説明として最もふさわしい文を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人間は非合理的に判断する生き物であるという事実を受け入れたうえで、情動を制御するのに役立つ科学的知識だけを取り入れるようにすること。
- イ 科学と非科学という線引きをすること自体が人間の情動をないがしろにしているという点を反省して、専門知識と日常の感覚の融合を図ること。
- ウ 科学的知識に基づいた合理的な判断を心がけながらも、科学が納得させてくれない問題に対して情動の面から解決を試みる姿勢をあわせ持つということ。
- エ 科学で解明されている物事は科学的知識に基づいて判断し、科学で解明されていない物事は情動回路に従って判断するというように、柔軟に使い分けるということ。

問三 ——線3「もっと最近の事例」として直後で紹介されている事例（写メの開発経緯）は、直前で紹介されている事例（電話の進化）と論理的に一致していない。この点について説明した文として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 電話の進化は「ユーザーの視点を欠いていたから用途を変更された事例」だが、写メの開発経緯は「ユーザーの視点を取り入れていたから想定通りに使用された事例」である。これらの構造的なずれは、読者を自分の意見に導くために筆者が意図して行った論理のすりかえである。

イ 電話の進化は「科学技術があまり進歩していなかった近代の事例」だが、写メの開発経緯は「科学技術がかなり進歩した現代の事例」である。筆者は、条件の異なる二つの事例をあえて並列することで、現代人が科学技術に頼りきっているということを読者に暗に伝えようとしている。

ウ 電話の進化は「社会的に共有された客観的事実」だが、写メの開発経緯はあくまで「個人の語った真偽不明の逸話」にすぎず、社会的ダイナミクスについて話す文脈にそぐわない。後者は、読者にとってより身近な具体例をあげようとする筆者のサービス精神の現れである。

エ 電話の進化は「技術が社会に影響を与えた事例」だが、写メの開発経緯は「生活者が開発者に影響を与えた事例」である。構造的に真逆の後者は、同様の具体例を追加する表現の後に置くには不適切だが、「技術と社会は影響を与えあう」という以後の文脈に導く機能を果たしている。

問四 ——線4「知のダークサイド」の説明として最もふさわしい文を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 科学的知識に反感を抱きやすい人々は自分にとって都合のよい情報しか取り入れようとしただけでなく、科学的知識を否定する発信を行って科学を信じている人々の不安をおおるので、科学の発達が疑似科学の拡大を助長し続けているような状態になるということ。

イ 科学的知識の正しさを専門家でない一般の人々が客観的に判断しようとするれば、真偽を疑うことから始まるのは当然であるため、新しい知識が世に出るたびに現れる反対勢力に対して専門家が冷静な判断を呼びかける運動をしても、両者の溝が深まるだけになるということ。

ウ 知識が少ない人ほど自分が信じている情報を客観的に捉えようとせず、自分の意見を強めるような情報にしか触れようとしなければかりか、こうした人々の主張を信じた人が同じように行動する連鎖が起きて、非科学的な知識を信じる人々が増えまくるということ。

エ 専門家しか自説を広める手段をもたなかった時代に自分の意見を発信したがっていた一般人が、インターネットという手段を得て不完全な知識に触れ、それを根拠に自説を述べはじめたことで、科学的に正しい情報を流そうとする専門家の意欲がそがれているということ。

問五 — 線5「ぼくたちは、傲慢な専門家主義だけでなく、このような不遜な反知性主義とも闘っていかなければならない。はたしてこの二正面作戦に勝ち目はあるのだろうか？」について、

(1) 「傲慢な専門家主義」とはどのような考え方のことか。一文で説明しなさい。

〈下書き欄〉

(2) 「この二正面作戦」とはどういう状態のことか。一文で説明しなさい。

〈下書き欄〉

問六 本文について述べた文としてふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は、「物事は基本的に、科学的知識を根拠にして、情動ではなく理性にしたがって判断されるのが望ましい」と考えている面が強い。

イ 筆者は、「放射能汚染」「H I V」という多くの人がさけたがる症状を具体例にすることで、非科学的な判断がいかに無益であるかを伝えようとしている。

ウ 「タボ・ムベキ大統領」の例は、「優秀な人でも非科学的な情報を信じてしまう可能性があるのですべての人が注意しなければならない」という読者へのメッセージを含んでいる。

エ 「フィルターバブル現象」を話題にあげること、現代では知識を得ようとする行為にも自分の視野を狭める可能性がひそんでいるということを読者に意識させようとしている。

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「僕」(リュウ)は一〇歳で、夏は信州にある「恋路旅館」の一室である「ドリーム」に、姉の薫子、幼馴染で親戚のリリーとともに寝泊まりしていた。ある日三人は、恋路旅館の女将である菊さんとその息子のスバルさんや従業員たちと夜景を見に出かけた先で、段ボール箱に閉じ込められていた子犬を助け出す。子犬が閉じ込められていたダンボール箱には、ビニールテープが何重にも巻かれていた。以下の文章は、三人がその子犬に名前をつけようとしている場面である。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(小川糸「ファミリーツリー」ポプラ社 二〇〇九年 による)

問一 くく線 a 「念を押す」、b 「同じ轍を踏む」について、同じ意味の慣用句になるよう、次の空欄Ⅰ・

Ⅱに適当な言葉を答えなさい。なお、Ⅰはひらがな二文字、Ⅱは漢字一字で答えること。

「念を押す」

Ⅰ を刺す(ひらがな二字)

・ b 「同じ轍を踏む」

Ⅱ の舞を演じる(漢字一字)

問二 —— 線1 「日だまりみたいにはかばかと明るい声だった」とありますが、ここでの鶯子の心情を説明したものと最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 三つの名前の中で一番良いと思う名前に自分も賛同したことで、結果的に自分の意見が子犬の名づけに反映されたと考え満足している。

イ 三人の意見が割れたので、けんかにならないよう真つ先に自分の意見をこだわりなく取り下げ、自分の美徳を発揮できたことを誇らしく思っている。

ウ リリーとリュウが偶然同じ名前を提案したことを受け、自分が提案した名前よりも二人の提案した名前のほうが子犬にふさわしく思われ、子犬によい名前が付いたことを喜んでいる。

エ 本当は自分が提案した名前を子犬につけたかったが、多数決には従うほかないので、せめて恨めしい気持ちを表に出さないように努めて明るくふるまっている。

問三 —— 線2 「僕はさも、自分も『海』と言ったかのような素振りで答えた」とありますが、なぜ「僕」

はこのような行動をとったと考えられますか。その理由を説明したものと最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 子犬の名づけにさしたるこだわりはなく、リリーと同じ名前を提案したことにした方が、その場が丸く収まると考えたから。

イ 鶯子もリリーの案に賛成しているにも関わらず、いまさら自分の案を再度持ち出すことで、二人に自分が優柔不断な人間だと思われなくなかったから。

ウ 自分が好意を寄せるリリーと同じ名前を提案したようにふるまい、二人の距離が縮まることを期待したから。

エ 自分が提案した名前は、動機が個人的で子どもじみているので、そのことをリリーに説明するのが照れくさかったから。

問四 —— 線3 「海だぞ、お前は今日から海になったんだぞ」とありますが、ここでの「僕」の気持ちを

説明したものと最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 子犬に「海」と名づけたことで、より一層子犬がいとおいしいものと思われるようになったが、

「海」をきちんとしつけなければ飼うことを認められるはずがないので、まずは上下関係を教え込もうとしている。

イ 「海」という名前を子犬につけたことで、子犬と自分たちのつながりが確かなものになったという実感を強め、飼い主として責任をもって「海」を守る決意を新たにしている。

ウ 鶯子とリリーが強引に「海」という名前に決めてしまったことにまだ納得がいかないが、いまさらその決定が覆るはずもないので、繰り返し「海」という名前を呼ぶことで自分を納得させようとしている。

エ 鶯子とリリーの意見で子犬は「海」という名前に決まったために、このまま二人が「海」の飼い主としてふるまうことを恐れ、鶯子にもリリーにも「海」を渡したくないという気持ちを強めている。

問七

——線6「海と出会えて、よかった」とありますが、「海との出会い」について、リュウ、リリー、薫子はそれぞれどのように考えていますか。三人の考えを説明したものととして最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア リュウは、全く偶然に海が自分たちに発見されて命をつないだことを受けて、出会えたことに大きな喜びをかみしめている。一方でリリーは、海に対してひどい仕打ちをした人間のことは許せないが、海が捨てられていたからこそ自分たちと出会えた事実は無視できないと考え、自分を納得させようとしている。薫子は、二人の主張に共感したうえで、あどけない海がひどい仕打ちを受けたことに心を痛めている。

イ リュウは、海が捨てられていたことは海にとって不幸なことであり、海の命が助かったのは全くの偶然であると考えている。一方でリリーは、海を捨てた人間がいたからこそ海と出会えたことを重視し、海が捨てられていたことを肯定的に捉えようとしている。薫子は、二人の話の踏まえ、様々な偶然が重なって海と出会えたことへの喜びを静かにかみしめている。

ウ リュウは、海に対してひどい仕打ちをした人間たちに対して腹を立てているが、リリーの言い分には納得している。一方でリリーも、リュウの怒りに共感しつつ、海が捨てられていたことは自分たちと海が出会うために必然であったことを冷静に判断している。薫子は、リュウの激しい怒りやリリーの極端な考えに困惑しつつも、つらい目にあつた海に心の底から同情している。

エ リュウは、海をひどい目に合わせた人間のことをかばうような発言をするリリーのことが理解できず、激しい怒りを抱いている。一方でリリーも、自分の主張が正しいにも関わらず、それが理解できないリュウに対してあきれ返っている。薫子は、二人の意見が相いれないものであることに戸惑い、こんな調子で海を育てることができるのか、早くも不安で心がいっぱいになっている。

二〇二二年度

入学試験問題

国語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

- 一、問題冊子は監督者かんとくの指示があるまで開いてはいけません。
- 二、監督者の指示により、最初に問題冊子の表紙と解答用紙の指定されたらんに受験番号と氏名を記入してください。
- 三、試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
- 四、受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
- 五、字数に制限のある問題では「、」や「。」などの記号も一字と数えます。
- 六、解答用紙は持ち帰らないでください。

受験番号			
5			

氏名

〔二〕 次の――線部のカタカナを、漢字に改めなさい。

- ① リョケンを発行する。
- ② 高級料亭で顧客をセツタイする。
- ③ 史上クツシの名勝負。
- ④ 性格がタイシヨウ的な兄弟。
- ⑤ 思わぬヒロいものをした。

〔二〕 アメリカの作家スティーブ・キングは、二〇二〇年四月四日にTwitter^{ツイッター}を通して次のように発信しました。

このメッセージについてあなたが考えたことを、次の1〜3の点に触れながら二百字以内で書きなさい。

1. キングさんはこのメッセージをどのような気持ちで発信したのだろうか。
2. このメッセージを受けて、あなたはアーティストや作品の存在価値をどのような理由で、どのように評価したか。
3. あなたと反対の考えをもっている人は、どのような意見をもっているだろうか。あなたは、その人と出会ったらどうしたいか。

著作権の関係のため本文は省略します

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(永田和宏『知の体力』新潮新書 二〇一八年 による)

問一 — 線1「自分なりの足の位置を決めようとする態度」とはどのような態度ですか。解答欄に当てはまる形で、一文で答えなさい。

問二 — 線2「人が日常使っている『それらしい』言葉」とありますが、これとは異なる意味あいを用いられている言葉として最もふさわしいものを、本文中の〰〰〰線A〜Dの中から選び、記号で答えなさい。

問三 — 線3「アナログ世界は表現不可能性のなかでのみ成立している」とありますが、これはどういうことですか。その説明として最もふさわしいものを次のア〜エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 気温や水温など、知覚できるものを数量化する試みがデジタル化することであるが、デジタル化された物事はすべて現実から離れた仮想の世界の物事として取り扱われるので、実際にデジタル化された言葉への信頼度は欠けてしまうということ。

イ ある量を別の何かの量に置き換えて大まかに把握する仕組みがアナログ化であるが、その過程では理解のしやすさを追求するために表現の多様性を諦め、わかりやすく平易でありふれた表現を選択することから、表現の独自性は失われてしまうということ。

ウ それ自体に切れ目がなく連続している世界の事象は、あくまでも感覚としてのみ理解できるものであるため、他者の感覚を正確に共有することを狙って、同じ言葉を使ったり言葉遣いをまねてみたりしたとしてもそれは徒労に終わるということ。

明確な区切りが存在しない世界の事象を、言葉という有限の存在でそのまますべて分節化することは不可能であるため、アナログ世界そのものが存在するとすれば、それは言葉によって表現された世界とは別の地平にしかありえないということ。

問四 空欄 I Ⅳ にはそれぞれ「アナログ」と「デジタル」のいずれかが入る。「アナログ」が入る場合にはAを、「デジタル」が入る場合にはBを、それぞれの解答欄に答えなさい。

問五

——線4「デジタル表現のアナログ化」とありますが、これは何をどうすることと言えますか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 言外にこそ話し手が本当に伝えたかった思いが込められていると推測される表現について、それを単語に分節化することで正確な意味や情報を獲得していこうとすること。

イ それ自体連続的で確かな区切りが付けられない言葉について、話し手の持つ複雑で独特なイメージを共有するために、より具体的な情景を用いながら理解しようと工夫すること。

ウ 相手が伝えたいと願ったはずだが十分に言葉で表現しきれないと思われるものについて、相手の思いを推し量り、伝えたかったであろうことを補いながら読み解いていくこと。

エ 言葉の有限性を目の当たりにして、相手が伝えたいことを正確に表現することを断念したであろう言葉について、過去の自身の経験に基づいた解釈をしようと努力すること。

問六

——線「誰もが同じ方向へ顔を向ける」について、次の2点について答えなさい。

①このような事例として挙げることは何ですか。

②そういった事態に、筆者の言う「一度はみんなが向こうとしている方向とは反対を見してみる」ためにあなた自身が心がけねばならないと考えることを一文で答えなさい。

〔四〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

高校一年生の碧李（ミドリ）は、両親が離婚し、母（千賀子）と幼い妹（杏樹）と三人暮らしである。陸上部に所属していた碧李はある大会のレースで惨敗した。その後、母の精神的な不安定さから、学校に行くとき以外は常に妹のそばにいたいように思い、陸上部を退部した。

ある日、発熱した妹を病院に連れて行った帰りに、同じ陸上部だった久遠（ノブ）と会った。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(あさのあつこ『ランナー』幻冬舎文庫 二〇一〇年 による)

問一 —— I 「間髪を入れず」・II 「楽天的」の言葉の意味として最もふさわしいものを次のア～エの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

I 「間髪を入れず」

- ア 激しい怒りがこみ上げて イ その場の雰囲気に合わせて
ウ 少しの時間も空けないで エ 気持ちを押し殺して

II 「楽天的」

- ア 物事にくよくよしないで、何事も良いようにとらえるさま。
イ 目先のことに惑わされず、遠い将来の情勢まで見通すさま。
ウ 特に何も考えず、気のおもむくままに行動するさま。
エ 物事を頭の中だけで考えていて、具体性に欠けるさま。

問二 —— 線1 「久遠は饒舌だった。普段も口数は多い方だが、こんな性急なしゃべり方はしなかった」とありますが、久遠はなぜこのようなしゃべり方をしていると思われるか。その理由として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 発熱した妹を病院まで連れてきて疲れ切っている碧李を、少しでも元気づけようとしたため。
イ 部活動を辞めてしまった碧李に対してどのように振舞えば良いかわからず、動揺しているため。
ウ 体調の悪い妹を連れている碧李を前にして気をつかい、早く会話を終わらせようとしたため。
エ 部活動の練習中に怪我をしてしまい、気落ちしていることを碧李に悟られないようにするため。

問三 —— 線2 「ふっと笑みが浮かんだ。淡雪のようにすぐに消えてしまう笑みだった」とありますが、このときの久遠の気持ちとしてふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 怪我が完治すれば走れるようにはなるが、ハードルが越せない真の理由は精神的な原因によるもので簡単には解決できないと自分でわかっているのに、苦しい気持ち。
イ 走りの不調は怪我が原因だとすぐに察してくれる碧李の優しさをうれしく感じつつも、碧李が言うように、完治したら本当にハードルを越せるのかを考えてしまって不安な気持ち。
ウ 他人の怪我には親身になって心配してくれる碧李に対して、もっと碧李自身のことを考えてほしいと願うものの、そういう人間ではないことをわかっているので寂しい気持ち。
エ 走りの不調の原因が腰の怪我であることが判明したが、すぐに治るものではないため、これからの部活動での活躍に明るい未来を想像できず、やるせない気持ち。

問四 — 線3「自分の口調に寒気がした」とありますが、これを説明したものとして最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 怪我をして走ることの出来ない久遠の状況を自分に置き換えて想像してみると、部活動はやむなく退部してしまったが走ること自体は好きな自分にとってあまりにつらく、耐えられない思いがしたということ。

イ 走ることに対する恐怖と怪我に対する不安で悩んでいる久遠に対して慰めの言葉をかけたが、その言葉にあまりにも心がこもっていなくて、他人を心配しているようにとりつくるおうとしている自分に嫌気がさしたということ。

ウ 気心が知れている久遠と冗談を言いながら話している中で、久遠の怪我を知って、心配する気持ちから親身になって話を聞いていたが、ふと真面目に向き合っている自分の姿勢を客観視すると、暑苦しく思えて気恥ずかしくなったということ。

エ 腰の怪我によってしばらくは走ることも出来ない久遠を慰めようとしている自分の言葉が、久遠のためだけに発せられたものではなく、走ることから逃げている自分にも同じように優しくしてほしいという無意識の現れだと、話した後気づいたということ。

問五 — 線4「早くここから、離れよう」とありますが、碧李のどのような様子が表れていますか。一文で説明しなさい。

〈下書き欄〉

--

問六 この文章に描かれてある久遠と碧李の様子の説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選

び、記号で答えなさい。

ア 走ることの恐怖に耐えきれず、その思いを吐き出すことよって少しでも恐怖から逃れたい久遠に対して、陸上競技に未練がある碧李は、久遠との会話を通して大会での光景を思い出さずにはいられないでいる。

イ 走ることに対する恐怖と直面し、大きな怪我をしてもなお前に進もうとしている久遠に対して、走ることへの恐怖を振り切れない碧李は、友人の声かけがありながらも前に踏み出せず、先に進むことが出来ないでいる。

ウ 高校に入学して出来た気の合う仲間とどんなことがあるとも一緒に走り続けたいという思いをぶつける久遠に対して、碧李は走ることに対する自分の思いを久遠の言葉に気づかされながらも、決心することが出来ず、自分からは動けないでいる。

エ 自分自身さえ掴めない心の内をもがきながらも表に出して乗り越えようとしている久遠に対して、走ることが好きだった碧李は幼い妹を目の前にして、陸上に対する未練を捨て去り、久遠の話話を半分聞いている。

二〇二二年度

入学試験問題

国語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

- 一、問題冊子は監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 二、監督者の指示により、最初に問題冊子の表紙と解答用紙の、指定されたらんに受験番号と氏名を記入してください。
- 三、試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
- 四、受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てくださいます。
- 五、字数に制限のある問題では「、」「や」「。」などの記号も一字と数えます。
- 六、解答用紙は持ち帰らないでください。

受験番号
7

氏名

〔二〕 次の――線部のカタカナを、漢字に改めなさい。

- ① 土地のメイシヨウを訪ねる。
- ② 暑さにヘイコウする。
- ③ キユウキユウ隊がかけつける。
- ④ ホウキヨウの念にかられる。
- ⑤ 怠慢たいまんをせめる。

「二」次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昨年の東京オリンピックにおいて、女子の重量挙げでニュージーランド代表に^(注)トランスジェンダーのローレル・ハバード選手が出場して話題となりました。ハバード選手は、生まれた時の体の特徴から男性とされたことで、心と性との違いに悩み、ホルモン治療を受けて女性として生きる道を選んだ選手です。残念ながら、オリンピックでは結果を残せませんでした。東京オリンピックは、トランスジェンダーの選手が出場する史上初の大会となったのです。ハバード選手の思いは、「

〜著作権の関係のため省略します〜

」(「News week

2021.8.2」より引用)ということだそうです。

IOC(国際オリンピック委員会)は二〇〇四年、トランスジェンダーのオリンピック出場を認め、現在のIOCの規定では、「大会の1年前から血液中のテストステロン(男性ホルモン)値を基準以下に保つなどの条件を満たせば、男子で競技歴がある選手でも女子で出場できる。」とあり、ハバード選手はその基準をクリアしていました。しかし、実際には彼女に対するさまざまな意見があったのも事実です。「男性として生まれ育った人が、女性になるために性別適合手術を施したとしても、その人が女性のスポーツ枠に選手として出場して競技をしたら、他の女性選手達は不利になる」といった意見でした。

トランスジェンダーのスポーツ参加の問題に関しては、スポーツ界だけにとどまらず、今後の私たちの社会の中でも考えていかなければならない課題といえます。

(注)トランスジェンダー……生まれつきの身体的性別と、自分が認識する性別が異なる人々の総称。トランス(trans)は「超える」、ジェンダー(gender)は「性別」を表す。身体が男性で心の性が女性の場合は MtF (Male to Female・MtF)、身体が女性で心の性が男性の場合は FtM (Female to Male・FtM)と呼ばれる。ハバード選手は MtF である。

右の文章を踏まえ、次の1と2について、あなたの考えを二百字以内で書きなさい。

1 あなたの身近にトランスジェンダーの人がいたと仮定した時、同じスポーツ競技などで競い合うようになった場合と、近所や学校という身近な所で一緒に生活するようになった場合とで、あなたの受け入れ方(付き合い方)に違いが生じると思いますか、それとも違いは生じないと思いますか。あなたの考えを書きなさい。

1で答えたあなたの解答も踏まえて、トランスジェンダーの人々が生きやすい社会にするために、今後私たちにできることを、考えて書きなさい。

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(内山 節『子どもたちの時間』農山漁村文化協会 二〇一五年 による)

問一 (a) (b) (c) に入る言葉として最もふさわしいものをそれぞれ次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア そして イ つまり ウ もちろん エ しかし

問二 「 」に入る語を本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問三——線1「そんな疑い」とはどのようなことですか、最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分は自分の「最初の記憶」を正しいものと思っているが、他人には、現在の本人によって美化されたものであると思われるのかも知れないということ。

イ 自分が思っている自分の「最初の記憶」は、少年期になるまでに身近な人によって植え付けられた記憶の断片に過ぎないのかも知れないということ。

ウ 自分が思っている「最初の記憶」は、記憶の前後の体験との関係性によって決められたものなので、今の自分では判別しようがないのかも知れないということ。

エ 自分では「最初の記憶」だと思っているものがあるつもりだが、実は幼年期の記憶はどの人にとっても不確定な要素を含んでいるのかも知れないということ。

問四——線2「幼年期から少年期への転換」とありますが、その転換について説明した次の文の（ ）に、それぞれ本文中の語句を用いて二十字以内で入れ、完成させなさい。

幼年期は自分の記憶が（ ① ）として記憶されるのに対し、

少年期は（ ② ）記憶されるというところに

幼年期から少年期への成長が見て取れるということ。

問五——線3「自己のための自己創造」と同じ内容の表現を本文中から十七字で抜き出しなさい。

問六——線4「現代社会のかかえる問題点」の説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 戦後生まれの世代は、少年期になると他者を「成績」で分別するようになる傾向が強くなり、その影響で社会全体に思いやりの心が薄れてしまっていること。

イ 少年期を過ぎると個人的な目標を達成することに関心が向き、他者を自分の存在とは無関係なものと考えるようになり、個々人が孤立化した社会になるということ。

ウ 子どもの時は周囲との関係の中で自己を確立していくものであるが、大人になっても他者に依存し、ていつまでも自立できないという状態が続いてしまうこと。

エ 子どもたちに対して、自分の目標を達成させるためには競争を含めた他者との関係を意識していくことが必要であると要請し、子どももそれに応える傾向が強まること。

問七 筆者はフランスの農村で、子どもたち誰もが鳥の世話や薪割りなど自分の仕事を持ち、村の暮らしを守る上で必要とされる人間として存在しており、子ども自身が村を支える部分が大きくなっていくことが「成長する」ことであると感じ、次のように述べています。

著作権の関係のため本文は省略します

——線5「自己のための自己創造が課題になっていく」とありますが、筆者が望ましいと考える「自己創造」を説明した上で、今の自分は「役立たず」かどうか具体例を用いて一文で説明しなさい。

〔四〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

著作権の関係のため本文は省略します

(村田沙耶香「マウス」講談社 二〇一一年 による)

問一 「Ⅰ」「Ⅱ」に入る体の一部分をそれぞれ漢字で答えなさい。

問二 — 線1「瀬里奈はショックをうけたようだった」とありますが、このときの瀬里奈と律について述べたものとして最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 瀬里奈は早野さんに対して実は嫌悪感を抱いているのに、仲のよい律から狭い世界に閉じこもるのではなく友人関係を広げるよう提案され、自分のことを理解されていないだと動揺した。

瀬里奈は話す相手が増えることに興味がないのに、早野さんと話すよう提案した律の本心が、実は出世劇を見たいためだと気づき心細くなった。

ウ 律は瀬里奈が狭い世界の中には勿体ない気がして早野さんと話すよう伝えたが、瀬里奈は気が合うかわからない人と接することに興味がないので嫌な気持ちになった。

エ 律は自分たち以外にも交友関係を広げ、話し相手を増やすことをすすめたが、瀬里奈は仲のよい友達だと思っていた律から突き放されたと感じて不安になった。

問三 — 線2「私は感心してその様子を眺めていた」とありますが、「その様子」の説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 瀬里奈の中で友達としての早野さんの価値が上がった。

イ 瀬里奈への評価が早野さんの発言によって真逆になった。

ウ 早野さんの発言が強く、瀬里奈がグループを変えてしまった。

エ 久美ちゃんの瀬里奈への価値観が早野さんによって反対になった。

問四 について、

- ① 当てはまる言葉を自分で考えて書きなさい。
- ② その言葉を選んだ理由を説明しなさい。

問五 〰〰〰線の文章の表現や内容についての説明として、ふさわしいものを次のア～カの中から二つ選び、

記号で答えなさい。

ア a 「マこっち、こっち」と手を振り」やb 「背中を叩き」などの早野さんの行動は、瀬里奈を必ず自分たちのグループに入りたいという強い思いを描いている。

イ クラス内の序列に対する律の嫌悪感がc 「街頭スナップに載った」に、小学生女子特有の行動に対する律の嫌悪感がf 「手をつないでトイレに連れて行ったりする」に表れている。

ウ d 「運動会が終わり」やh 「バレンタインデーの日」など、行事を経ることに麗ちゃんが存在が律の中で大きくなっていることが読み取れる。

エ e 「瀬里奈になついた一件を根に持っていて」やg 「もういいよ」などの麗ちゃんの言動は、自分の思い通りにならないと感情的になる性格を示している。

オ i 「え、私が？」やj 「そうかなあ」など律の会話中の言葉を少なくすることで、他人に対する距離感を具体的に表している。

カ k 「灰色の光景」は律の抑圧された気持ちをも、l 「水色の路線」はその気持ちが解放された後の心情を暗示している。